

新規プリンの商品開発プロジェクト

大学の近隣に所在する養鶏場のカトウファームは、えさや飼育方法にこだわった優れた品質の卵を生産し、また、この卵を用いたプリンの製造販売も行っています。このプリンは東京都地域特産品に選定され、高い評価を得ています。調理学研究室では、同社との連携により、プリンのバリエーションの拡大を目指して、新規プリンの開発研究を行いました。ハーブセラピーに着目し、「心にも体にも優しいプリン」のコンセプトで、ローズとカモミールのフレーバーのプリンを提案しました。これらのプリンは、学園祭（KVA祭）で販売し、また、地域交流会でも参加者への手土産として提供し、好評を得ました。

- ◆担当教員：小口悦子教授
- ◆連携パートナー：有限会社カトウファーム
- ◆実施時期：平成25年4月～平成26年3月



葉山町の特産品開発プロジェクト



平成23年度にスタートした葉山町商工会との連携研究は、今年度で3年目を迎えました。これまで、同地区の夏ミカンとショウガをテーマに、特産品の開発を目指してきました。今年度は、これまでの研究成果を踏まえ、主にショウガを用いた検討を行いました。地元地域でのイベントに参加し、試食提供やアンケート調査を行いながら研究を進め、ショウガを用いたまんじゅう等を提案しました。これまで、夏ミカンを用いた最中やようかんが地元企業の手により商品化され、好評を得ています。連携研究は今年度で終了となりますが、今後に向けて、新たな商品が期待されます。

- ◆担当教員：小口悦子 教授
- ◆連携パートナー：葉山町商工会
- ◆実施時期：平成25年4月～平成26年3月